

小峯ゼミ×読売巨人軍『救急救命プロジェクト』実施

小峯力教授による、FLP小峯ゼミは、日本球界を代表する読売巨人軍に『救急救命（G hands プロジェクト）』を6月25日に実施した。

当日は、小峯教授の指導とゼミ生たちによるサポートのもと、心肺停止状態に対する胸骨圧迫、AEDの実践を展開した。指導が深まるにつれて、監督・コーチ・選手・スタッフの表情も真剣となり、選手一人ひとりのいのちに向かう心臓圧迫のカウントが、会場に響きわたった。AEDアナウンスとともに大きく広げられた選手たちの両腕に限りない安心感を感じた。そして何よりも監督をはじめ、コーチ陣の積極的な参加が印象的だった。「ショックボタンを押します！」と、選手らを越える声に圧倒された。

最後に集合写真を撮り、プロジェクトが終わった時には、球場は大きな一体感に包まれた。ゼミ生にとって一流とは何か、それを学ぶ貴重な機会になった。

小峯ゼミは、今後もスポーツ界における救急救命（生命尊厳）を普及・啓発していく。



「ボランティア体験×学び 振り返りワークショップ」を開催

10月8日（木）に多摩キャンパスにて、「ボランティア体験×学び 振り返りワークショップ」を行いました。本講座は、学生たち自身のボランティア体験をそのままにするのではなく、きっちりと向き合って振り返ることにより、新たな気付きや成長につなげていくことを目的に、2013年に設立されたボランティアセンターが主催しました。

夏季休暇期間に様々な活動に参加したメンバー34名でのワークショップであったため、新たな視点や気付き、社会課題が見えてきたりと、参加者にとっては今後の活動へ活かせる多くの収穫があったようです。参加者からは、「全然分野の違うボランティア活動でも、抱え

ている課題などは共通することがわかり有意義だった」「様々な視点でのボランティア活動の効果・意義が可視化できてよかった」「これまでは意識できていなかった新たな視点を加えながら、もう一度初心に帰って活動していきたい」などの感想が聞かれました。また当日は、3回連続講座「公務員になりたい人のための『連続・ボランティア入門講座』」に参加した学生の修了式も行い、ボランティアセンター長・中澤秀雄法学部教授からの賞状授与式も行われました。



ワークショップの様子



「公務員になりたい人のための『連続・ボランティア講座』」修了式の様子